

KS KP 共同連

特定非営利活動法人
共同連 機関紙

れ だ じ み

おれんじ村・エコネットみなまた・共同連だいたい40周年記念
全国大会 in くまもと

今こそ働くことを問い合わせ直そう
~ともに働く、ともに生きる明日へ。40年の今とこれから~

日 時

2025年9月13日(土)～14日(日)

13:00～17:00 (12:00受付開始) 10:00～13:00 (9:30受付開始)

15日(月・祝) オプション企画 みなまたツアー

場 所

熊本学園大学 14号館

〒862-0971 熊本県熊本市中央区大江2丁目5-1

参 加 費

現地参加(2日間) 4,000円

現地参加(1日のみ) 2,500円

オンライン(2日間) 2,000円

オンライン(1日のみ) 1,000円

オプション企画 みなまたツアー：2,000円

交 互 会

5,000円(熊本学園大学7号館学食にて)

■主 催 NPO法人 共同連
共同連第40回記念大会現地実行委員会

■後 援 (一部申請中)
厚生労働省・熊本県・熊本市・水俣市・(社福)熊本県社会福祉協議会・(社福)
熊本市社会福祉協議会・(社福)水俣市社会福祉協議会・全国手をつなぐ育成会
連合会・きょうされん・DPI日本会議・ワーカーズコープ連合会・ワーカーズコ
レクティブネットワークジャパン・ヤマト福祉財団・熊本県教職員組合



問い合わせ先 おれんじ村・エコネットみなまた・共同連だいたい40周年記念
全国大会 in くまもと実行委員会
Email:1985orange@gmail.com



名古屋市北区山田2-11-62 kyodoren@gmail.com
TEL: 052-916-5308 FAX: 052-938-5309
郵便振替 NPO法人 共同連 00850-6-198463
URL: <http://kyodoren.org/>

2025
大会案内号

くまもと大会開催に向けて大会趣意書

今年、くまもと障害者労働センターおれんじ村＆エコネットみなまた＆共同連だいたい40周年を祝って『おれんじ村・エコネットみなまた・共同連だいたい40周年記念全国大会 in くまもと』を熊本の地で開催できることを嬉しく思います。

くまもと障害者労働センターは、共同連の理念「共に働き・共に生き・共に学ぶ」、反差別として有志の事業所と連携してきました。40年前にくまもと障害者労働センターを立ち上げた次の年に第3回共同連全国大会を熊本で開催して、これまでに4回も開催しました。

今回のテーマは「今こそ、働くことを問い合わせよう」～ともに働く、共に生きる、明日へ。40年の今とこれから～です。

これまでの40年間を辿る中で、私たちは障害者主体の事業所を目指し共に働くことを実践してきました。障害者が健常者と同じ仕事ができるようになるのではなく、個々に合わせ特性を活かした仕事を作り出してきました。そのことで自分に自信を持てるようになり、積極的な行動へつながり、周りも受け入れ認め合えるようになりました。

一方で国は障害福祉サービスを見直し、売り上げを伸ばすことができないA型の事業所は閉鎖に追い込まれ、障害者の働く場所、雇用は奪われています。確かに一部の事業所では「障害者ビジネス」として、障害者の労働はビジネスの商材として扱われている事業所は少なくありません。このような事業所が全国的に見ても熊本でも多くなっています。そんな現状は政策が変わるたびに同じことの繰り返しなのです。共同連としては許せないビジネスです。

「共に学ぶ」

教育に関しては、2022年に国連から「特別支援教育の中止を」との勧告が出されたにも関わらず、文科省は日本独自の「特別支援教育システム」を推し進めており、「分けられた場所」で学ぶ子どもたちの数は増え続けているという現状があります。私たちの目指す「共に働き、共に生きる」社会を実現するためには、「共に学ぶ」ことは大変重要なこと

であると考えています。教育の現場においても声を上げたり、連携を図ったりしながら、共に学び共に育つ『共育』の取り組みを進めていかなければなりません。

「共に生きる」

この40年間で、障害者が地域で暮らすための制度も改善されてきました。

ただ、地域・自治体の財政状況によっては、障害者が望む生活実現のために24時間ヘルパー派遣が必要であっても、派遣できないという実態が少なくありません。家族も本人も高齢となり、様々な問題が増えてきました。

若い当事者は障害者総合支援法によるヘルパーなどの介護給付やショートステイ等を利用しながら生活をしていますが、制度に合わせた生活を送ることになっており、本当に障害者の選択肢になっているのかを考える必要があると感じています。

「反差別運動」

熊本では障害者差別をはじめ「水俣病」、「ハンセン病」、「部落差別」など多くの差別問題があります。最近では、自治体が発行するカレンダーに「水俣病は感染症」と明記したり、民間の有名学習塾のオンラインテキストには「水俣病は遺伝する」と明記していました。しかし、いずれの事例も全国ニュースには取り上げられていません。

また、障害者が一人で公共機関を利用すると、介助者がいないことで乗車拒否されることもあります。JRも人手不足を理由に無人駅が増えています。

SNSの普及で、人との繋がりも増えた一方で、被差別部落や在日外国人に対しての誹謗中傷が増え来ました。そしていのちを落とす人も、過去最多になっています。

記念すべき40回目の共同連全国大会では、これから働き方や生活、誰もが暮らしやすい社会を目指して一緒に考えて行きましょう。

実行委員長・倉田哲也

大会スケジュール

◆1日目 9月13日（土）受付：12時～

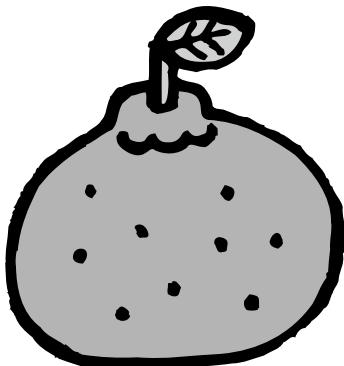
13:00～13:50	開会式・主催者挨拶・連帯挨拶・祝辞紹介・韓国から特別報告
13:50～14:00	休憩
14:00～15:00	記念講演 内山 節さん
15:00～15:20	休憩
15:20～16:50	シンポジウム
17:00	終了予定
17:30～20:00	交流会

◆2日目 9月15日（日）受付：9時半～

9:30～	受付
10:00～	第1分科会 これからの共同連を担う人の分科会 第2分科会 就労選択支援 第3分科会 社会的協同組合 第4分科会 共に学ぶ 第5分科会 水俣からの報告 第6分科会 就労ワークショップ
12:30～	サブ講演 田中夏子さん
13:00～	閉会式

◆オプション企画 9月15日（月祝）みなまたツアー

*詳細は8ページをご覧ください。



スケジュールは、都合により変更になることがあります。

第1日目 13日(土)

13:00 ~ 17:00

開会式

13:00 ~ 13:50

開会式・主催者挨拶・連帯挨拶・祝辞紹介・韓国から特別報告

記念講演

14:00 ~ 15:00

「ともに生きる社会へ—現代社会は何を間違ってきたのか」

講師 内山節さん(哲学者)

共同連は1984年以来、福祉制度ではない障害ある人ない人の共生共働を求め続けてきました。21世紀に入って福祉制度の充実がいわれるものの障害者の「商品化」やサービスの「施設化」が進み、「共生共働」はかえって見えにくくなっているのではないか。2000年のイタリア社会的協同組合との出会いから、共同連は社会的排除に合う様々な人々と共に「社会的事業所」をめざし、更に労働者協同組合法の成立を踏まえ「日本型社会的協同組合」の実現を展望していきます。

この格差と貧困、孤立と排除が広がる社会にあって私たちは「共生共働」へと進んでいけるのでしょうか。

内山 節さんプロフィール：1970年代からさまざまな著作を世に出してきた。群馬県上野村と東京との二重生活を実践し、自然との関係、里の暮らしを語り労働論、関係論など多岐にわたる探究を深める在野の哲学者。2015より年内山節著作集を刊行

シンポジウム

15:20 ~ 16:50

だいたい40年のおれんじ村・エコネットみなまた・共同連の今とこれから～40年の軌跡から、働くことを問い直す～

共同連が1984年。おれんじ村(くまもと障害者労働センター)が1985年。エコネットみなまたが1986年に誕生した。2025年、それぞれの団体が、だいたい40年を迎える。3団体が同じ時期に誕生したのは、偶然なのか?それとも必然なのか?いや、きっとそれは運命だった。

3団体が40年変わらずに紡ぎ続けてきたことは、障害者、水俣病被害者と共に働き、共に生きるということである。様々な属性の人が集まり『差別をのり越え、対等に』ということだった。40年の中で、障害福祉サービス等の制度は整ってきた。しかしながら、この40

年でできた障害者の就労分野の制度は、共同連、おれんじ村、エコネットみなまたが追い求めたものではなかった。一貫して、障害者は支援を受ける人、いわゆるサービスの利用者であり続けた。

今回のシンポジウムは、3 団体の軌跡をたどり、現在の制度と対照させることで、今大会のテーマである『働くことを問い合わせよう。』という試みとなる。

それぞの団体の設立から 40 年を振り返り検証をすることで、『ともに働き、ともに生きる明日へ』とつながる就労の場、一般雇用でもなく、福祉的就労でもない、第 3 の『共に働く』場を提案する。

【発題者】

倉田哲也 (くまもと障害者労働センター・おれんじ村)

永野隆文 (エコネットみなまた)

斎藤縣三 (共同連)

【司会】

花田昌宣 (熊本学園大学水俣学研究センター)

交流会&パフォーマンス大会 17:30 ~ 20:00

会場：熊本学園大学 7 号館 学食

共同連大会と言えば！みんなえらいに盛り上がる、毎年恒例のパフォーマンス大会！

今年やっと通常通りの形で開催です！！

みんなで美味しいものを食べて、飲んで、歌って、踊って。楽しみましょう♪

パフォーマンス大会の出場も募集しています！！

詳しくは、10p をご覧ください！



第2日目 14日(日) 10:00 ~ 12:30

第1分科会 これからの共同連を担う人の分科会

それぞれの重なる部分を探そう ~共同連となら、やればできるさ~

熊本、九州そして全国へ共同連の運動をどう広げて行くのか?「共に生きる」「共に働く」という思いに共感する人は多いはずなのに・・・。違いに目を向けるのではなく、重なる部分を一緒に探していませんか!?まずは、共同連と参加者で共通点を見つけよう!!わずかでも重なる部分があれば、つながることができる!!はず。

次世代が考えるこれからの共同連が取り組むべき課題は何なのか??

共同連の目指す労働は、ただの福祉制度とは異なる。共同連の思い描いた労働に近い札幌市独自の制度『札幌市障がい者協働事業』が危機的状況??

また、共同連が設立当初から一貫して取り組んできた最重度の障害者が働く意味とは!?実際に働く姿を見て、共同連の取り組みから、参加者同士で重なる部分を探していく。

きっと重なる部分がある。そして、共同連となら、やればできるさ!!

※札幌市障がい者協働事業

滋賀県の社会的事業所制度を参考に、障害のある人もない人も対等に働く新しい職場形態として、平成18年に市単費で施行。障害のあるなしを利用者・支援者と分けることはせず、共に働く事業所を行政が応援する制度です。

【登壇者】

●発題① 「次世代が考えるこれからの共同連が取り組むべき課題」

荻野直人(共同連事務局長)

●発題② 「札幌市障がい者協働事業がなくなる?」

田中伸和(札幌障害者活動支援センター「ライフ」)

●発題③ 「重度障害者が働くこと ★働く様子をムービー紹介」

山本栞奈(くまもと障害者労働センター)

【進行】 藤井晴太郎(NPO法人「わくわくかん」)

第2分科会 就労選択支援

就労選択支援を考える

障害者総合支援法はどこまでも障害のある市民を二級市民に落とし込める法律である。

現在のB型アセスメントは、「一般就労が難しく、就労移行等の訓練を経てもそこにつながらない者」を仕分けする道具である。10月から始まる「就労選択支援」は「一般就労」含め就労系の事業を希望するすべての障害者に対して、その「職業適応能力」を計り、個々を職業能力で輪切りにするもので、最も理不尽なのはその対象が「障害者」だけであるということだ。

どんな特性があろうとも企業の「合理的配慮」をどう施せば就労継続が可能なのか?という企業の側にとっての定着支援の指針を編み出すものであるのならあえて、有効かもしれない。しかし、就労選択支援なる新しい日本語は障害者の現時点での能力を示し、諦めるか否かの選択を障害者に求めるものに他ならない。そのような制度をどう「活用」するというのか!?

「分けない、切らない」「対等平等」を共同連は改めて主張する。

【登壇者】

酒井大介さん(社会福祉法人加島友愛会 理事長)

白杉滋朗(労働者協同組合「ねっこ社会的共働組合」)

山田浩三さん(就労移行支援事業所「アス・トライ」代表)

【進行】 原田文子さん(NPO法人「KP5000」代表理事)

第3分科会 社会的協同組合

労働者協同組合の設立からどう社会的協同組合をめざしていくのか

2000年代初頭から10年代初めにかけて、共同連は「社会的事業所」をめざすとしてきた。その方針が全く進まない中、2020年労働者協同組合法が成立したことにより明確な目標とした「社会的協同組合」を掲げることとなった。社会的協同組合とは何であり、労働者協同組合とはどう違うのか、労働者協同組合の設立からどう社会的協同組合をめざしていくのか。共同連の方針としての「社会的協同組合」の実現をどう共同連運動の中に位置付けていくのか。

【登壇者】

- 発題者 「社会的協同組合の視座」 斎藤縣三（共同連代表・名古屋）
「実践報告Ⅰ」労働者協同組合コトノワ（発壇者調整中）（熊本）
「実践報告Ⅱ」ヒラヤマアキヒト（労働者協同組合わっぱ社会的協同組合理事長・名古屋）

【助言者】 田中夏子さん（社会的協同組合研究者・長野）

【司会】 小出照幸さん（熊本県高齢者障害者福祉生活協同組合（ふくし生協）・熊本）
「労働者協同組合法の説明」

第4分科会 共に学ぶ

共に生きる社会は、共に学ぶ教育から

2016年12月、国連で障害者権利条約が採択されました。そして、2022年8月、国連で、障害者権利条約の審査が行われ、9月9日、日本政府に国連から厳しい勧告が出されました。その総合所見の内容は、日本の教育制度が障害児を分離する差別教育であると断じて、早急の改善を求めるものでした。しかし、その4日後には、文科大臣が国連勧告を否定し、その後も、障害がある子どもの学ぶ権利に対する侵害を放置し続けているのです。

その結果、熊本でも全国でも、いまだに小中学校での分離教育は更に進み、本人保護者の願いであるともに学ぶ権利が侵害される事件が増加しています。そして、義務制終了後に、高等学校への進学を希望する子どもに対し、受験拒否や定数内での不合格が続いている。

第4分科会では、その現実について現地熊本から2本、全国から1本の当事者の報告を受けて、差別の現実を許さず、未来を生きる子どもたちの「共に学ぶ権利」について論議を深めましょう。

【登壇者】

- 廣岡 瞳美（ともまなネットくまもと）
橋口 侑果（熊本学園大学修士課程2年）
島田 有・直子（知的障害者を普通高校へ北河内連絡会）
【進行】桑本 謙

第 5 分科会 水俣からの報告

水俣病ってなんなん? ~様々な水俣病があるのを知っていますか

今から 69 年前、水俣病は公式に確認されました。にもかかわらず、「水俣病は感染する」というカレンダーが出回ったり、「遺伝する」という塾のオンライン授業があったり、水俣病のことを知ってほしいという患者たちの思いとは正反対の状況が続いています。また、いまも水俣病と認められない人々が多くいます。これまで幾度も裁判や行政不服は繰り返され、患者が勝訴するたびに「様々な水俣病」が施策で作り出されてきました。

今回水俣のいまを伝える機会をいただきました。そこで皆さんと 3 つの問い合わせ

- ・水俣病事件の「加害」は 69 年前だけのこと?
- ・何がいまも被害者を苦しめるの?
- ・それは熊本だけの、水俣病だけの問題なの?

をたてて、現在進行形の水俣病事件における加害とは何か、ともに話し合い、連帯する機会とできればと思います。

【発題者】

井上ゆかり（熊本学園大学水俣学研究センター）

佐藤英樹（水俣病被害者互助会、認定義務付け訴訟原告団長、エコネットみなまた生産者）

佐藤スエミ（水俣病被害者互助会、エコネットみなまた生産者）

田尻雅美（熊本学園大学水俣学研究センター）

【進行】永田千砂（箕面市障害者共働事業所たんぽぽ・大阪箕面市）

第 6 分科会 就労ワークショップ

ともに働き、ともに生きる、ことを話しませんか?

内容は、当日発表●参加者定員 20 名 *コロナ感染防止対策として。

全国で活動している仲間の事を知りたいな。

今までやってきたこと。これからやってみたいことって何かな。

みんなの今とこれからを、一緒に考えましょう!!

【ヒントを探る 3 つのテーマ】

1 障がいのある人もない人も互いに助けたり、助けられたりできる!を感じます。

2 今までやってきたこと、これからやっていきたいなってことなど・・・

日々の工夫をお互いに話します。

3 無理なく、できる限る自然に、誰もが力を持っていることを感じ合って、元気になる場を共につくります。

【ファシリテーター】

松本 祐一（みやぎアピール大行動実行委員会）

下中絵里加（共同連関西ニューブロック）

松尾 芳美（くまもと障害者労働センター）

サブ講演

12:30 ~ 13:00

講師 田中夏子さん（社会的協同組合研究者・長野）

共同連の目指す「社会的協同組合」のモデルは、1991 年にできた「イタリア社会的協同組合法」。その研究の第一人者として、午前中第 3 分科会の議論も含めて、日本における社会的協同組合の必要性と可能性をふまえた「社会的協同組合」について語る。

閉会式

13:00 ~

大会宣言
次回開催地より

オプション企画 みなまたツアー *詳細9Pも合わせてご覧ください。

行程 2025年9月14日(日)~15日(月)

9月14日	水俣入り *宿泊は各自で確保。ない場合は要相談。
9月15日 8:20	肥薩おれんじ鉄道水俣駅集合
8:30	チッソ水俣工場(1908年開業)正門前。現在の名称JNC。 1959年漁民突入。 1962年安賃闘争時のピケットライン。 1971年自主交渉の患者たちの1年9か月の座り込み。 1988年の座り込み。 「水俣病は差別用語」看板前。
9:00	百間排水口遺構 水俣病爆心地、百間排水口。 1932年~1968年まで有害な排水を無処理で流していたところ。 案内板、お地蔵様。
9:30	水俣湾埋め立て地(通称工コパーク) 覆い隠された水銀ヘドロ、有機水銀が眠る埋め立て地の先端の親水護岸。 恋路島、魂石、水俣病慰靈碑、山の鐘・海の鐘。
10:20	水俣市立水俣病資料館見学(変更になる場合あり)
11:10	水俣病公式確認の地であり激震地である坪谷
11:40	湯堂、茂道、水俣病多発地域
12:30	昼食会場は工コネットみなまた。弁当(費用は別途)を準備します。 終了後解散。必要な方は新幹線新水俣駅まで送ります。

参加お申込み等について

参加者
募集中

参加希望の方は下記のフォームに必要事項をご入力の上、
お申し込みください。

大会申込フォームのQRコードを読み取ってください。
(申込フォームにリンクします) →

【申込の流れ】

申込フォームに記入・送信

↓
申し込み受付メール(参加費の支払い方法もご案内します。)が届きます。

↓
参加費のお支払い(半角入力でお願いします。)

現地参加(2日間) 4,000円

現地参加(1日のみ) 2,500円

オンライン(2日間) 2,000円

オンライン(1日のみ) 1,000円

交流会: 5,000円(熊本学園大学7号館学食にて)

オプション企画 みなまたツアー: 2,000円



オプション企画 みなまたツアー

●費用について

参加費：一人当たり 2,000 円

案内用に中型バス（定員28名）を借ります。

定員に達成次第締め切ります。

なお、レンタカーなどの参加も可能です。

申し込み締め切り
9月2日（火）までに
お願ひします。

14日の宿泊については、各自で手配ください。

*参考までに水俣のホテルの一部を以下にご紹介します。

スーパーホテル水俣

Tabist Hotel サンライト

湯の鶴温泉あさひ荘

湯の鶴温泉鶴水荘

湯の児温泉 海と夕やけ などがあります。

また、車いすの方でホテルの宿泊が難しい場合は、民泊ですが対応可能な宿泊場所の紹介ができます。

前泊される方で食事場所がわからない、他のことなども永野までお気軽に尋ねください。ご紹介します。

エコネットみなまた 永野隆文（090-8229-9539）までご連絡ください。

〒 867-0023 水俣市南福寺60番地

社会福祉法人くまもと障害者労働センター エコネットみなまた

TEL0966-63-5408 FAX0966-63-3522

mail : infoeconetminamata@gmail.com





交流会& パフォーマンス大会

9月13日17:30~20:00



共同連大会といえば！！そう、パフォーマンス大会！！

毎年恒例、みんなで大いに盛り上がるパフォーマンス大会。

コロナ禍から縮小していたパフォーマンス大会が、ついに熊本の地で、完全復活！！

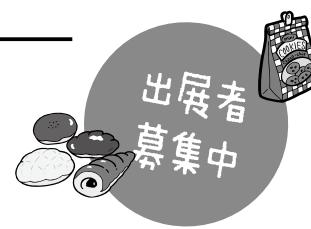
ジャンル不問、もう何でもあり。自慢のパフォーマンスを披露したい方、ぜひぜひ参加をお待ちしています。

【応募条件】共に働き共に生きる社会を目指す活動に参加している個人（2名以上）または団体。障害がある人ない人が一緒に参加するなど、協働性を重視したグループ参加をお願いします。

※音響などの関係上必ず、事前申込みが必要です。

共に働く出展・販売ブース参加

9月13日~14日



くまもと大会の期間中、各団体自慢の商品を販売するブースを設けます。

それぞれの自慢の商品を、全国の方々に知っていただくチャンスです！

食べものから雑貨、Tシャツなどなど、さまざまな商品を販売しながら、大会をさらに盛り上げてください！！

【応募条件】

- 全国から約 10 団体を募集します。申込み多数の場合は、先着順になります。
- 応募条件は、大会に参加申し込みをされた団体とさせていただきます。
- 出店料は無料です。1 団体・1 テーブル (150cm × 60cm) 分のスペースになります。
- 販売品によっては、会場の都合上、応募をお断りさせていただく場合があります。

★参加申込いただきましたら詳細は、追って担当より連絡いたします。

【申込方法】
交流会パフォーマンス大会
出展販売ブース
共通申込フォームです。
こちらに→
必要事項をご入力の上
お申ください。
いずれも必ず申込が必要です。



40出展・交流会

応募締切 2025 年 9 月 2 日 (火)



会場案内 熊本学園大学 14号館

〒862-0971
熊本県熊本市中央区大江2丁目5-1



●熊本桜町バスターミナルより

【車利用】約15分

【熊本都市バス利用】15のりば 約20分

◎子飼渡瀬線 バス停「学園大前」下車

◎大江城西線バス停「学園大前」下車

◎渡鹿長嶺線バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

◎東西線 バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

【産交バス利用】15のりば 約20分

◎熊本整形外科・託麻原本通経由 約20分

→ バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

◎子飼橋・託麻原本通経由 約20分

→ バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

●九州新幹線・JR鹿児島本線 熊本駅より

【車利用】約15分

【熊本都市バス利用】6のりば(白川口) 約20分

◎熊学ライナー熊本駅-熊学ノンストップ バス停「学園大(キャンパス内)」下車

◎第一環状線(大学病院回り)バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

◎中央環状線(大学病院回り)バス停「学園大前」下車すぐ

●JR豊肥本線 水前寺駅より

【同駅北口より徒歩】約10分

【同駅北口より熊本都市バス利用】約3分

◎(大江城西線)バス停「学園大前」下車すぐ

◆熊本市電

◎電停「味噌天神前」下車 徒歩約15分

◆九州自動車道

【車利用】熊本ICより 約15分

【車利用】益城熊本空港ICより 約20分

◆熊本空港より

【車利用】約30分

【空港バス利用】約30分

◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分



大会協賛金のお願い

共同連の活動は、理念に共感する事業所や個人の支援によって支えられています。今大会の運営のために、みなさまのご協力をお願いします！

◎1口5,000円(何口でも可能です)

〈送金先〉

ゆうちょ銀行 口座名義: キヨウドウレン

・記号番号 00850-6-198463 (ゆうちょ銀行から振り込む場合)

・四〇八店 普通 4487315 (ゆうちょ銀行以外から振り込む場合)

ご協力していただける方は、

HPに掲載している協賛申込書にてお申し込みください。→

<https://kyodoren.org/?p=1732#i-7>



編集発行日 2025年8月12日(火)

- 編集人 特定非営利活動法人 共同連
- 編集室 〒520-2144 滋賀県大津市大菅5丁目6-8
- 全国事務局 〒462-0810 名古屋市北区山田2丁目11-62 TEL052-916-5308 FAX052-938-5309
- E-mail kyodoren@gmail.com
- NEWS投稿先 kyodorenlesamis@gmail.com FAX 052-938-5309
- 頒価 200円
- 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル 4F